

公益財団法人 檉の芽会 御中

令和 7 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

【団体の概要】		① 作成日	令和 8 年 5 月 23 日
②法人・団体名	一般社団法人 天王寺堂ヶ芝学習館「みんなで学ぶ教室」		
③団体所在地 (都道府県・市町村名まで)	〒543-0033 大阪府大阪市天王寺区堂ヶ芝 2 丁目 9 - 7 堂ヶ芝グランドメゾン 1 階 101 号室		
④責任者氏名	西場 弥生	(役職名等)	代表理事
⑤担当者氏名	同上	(役職名等)	同上

【奨学活動の概要】					
⑥助成交付決定番号	R07-041	⑦助成金額	51 万円	⑧申請カテゴリー	D
⑨奨学活動名	中学生無料学習支援教室 ～全員、高校進学！～				
⑩主な実施場所名・ 及びその住所	天王寺堂ヶ芝学習館「みんなで学ぶ教室」 大阪府大阪市天王寺区堂ヶ芝 2 丁目 9 - 7 - 101				

⑪活動内容とその成果の概要（詳細は【様式 3 - 2】又は別添資料にて記載・説明ください。）

- ・ 高校進学を目指す貧困、不登校中学生への無料学習支援活動（水曜日・土曜日）
- ・ ボランティア学生（協働実践基礎演習生）の受け入れ
- ・ 区役所、社会福祉協議会、大学ボランティアセンター等各関係団体との連携
- ・ 大学生による自主企画、運営の季節行事開催
- ・ 外部講師による特別授業

⑫奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑪及び様式 3 - 2 等でご報告願います。）

支援対象	延べ人数 (A : 人)	平均時間 (B : 時間)	活動量 (A x B)	備考・補足・計算根拠等
中学生等	323	2.5	807.5	活動時間 水曜日 18:00~20:30 土曜日 18:00~20:30 (8 月以降)
高校生等	40	3	120	教室卒業生
大学生等	38	3	114	協働実践基礎演習生
学習支援員等	279	4	1116	大学生ボランティア 水・土曜日活動 (授業準備時間含む)
その他	58	2	116	大阪教育大学教授（特別講座） 英語講師（英会話教室）
合 計				

令和7年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書

奨学活動名：中学生無料学習支援教室 ～全員、高校進学！～

法人・団体名：一般社団法人 天王寺堂ヶ芝学習館
「みんなで学ぶ教室」

作成者 氏名： 大矢 知与

1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

<目的> 高校進学に向けた、中学生への学習支援

<取り組んだ課題>

- ・貧困をはじめとする多様な環境にいる中学生が自立し、自学自習できるような力を身につけさせる。
- ・コミュニケーション能力の向上と、ソーシャルスキルの基礎を築く。

<実施内容>

- ・定期テスト、学校からの課題等について将来的に自学自習ができるようになるような声かけ、見守り、手助けをする。
- ・一人一人との対話を大切にし、対面でしかできない会話や人との関わりを感じてもらうことにより、自ら考え行動できる力を身につけてもらう。

2. 実施した奨学活動の詳細

・学習支援授業

毎週水曜日 18時～20時30分 土曜日 18時～20時30分（8月～）

大学生ボランティアによる学習支援、定期テスト対策

教科書、参考書、辞書、ホワイトボード、タブレット、パソコン、プロジェクター等を使用



・ 季節行事

七夕、ハロウィン、クリスマス、餅つき、卒業お別れ会



・ 大学教授による授業

「中学生向け無料特別講座」



・ 高校受験対策

大学生・大学院生との面接練習、過去問対策



・ 各関係団体との連携

天王寺区役所 スクールカウンセラーとの懇談

大阪市社会福祉協議会

天王寺区社会福祉協議会

大阪市教育委員会 ボランティア加算制度参加

KADOMA 中学生勉強会

大阪市ボランティア・市民活動センター

OCVAC Osaka City Voluntary Action Center



社会福祉法人
大阪市天王寺区社会福祉協議会 ゆうあい

・大学との交流

大阪教育大学（協働実践基礎演習生の受け入れ）

関西学院大学ボランティアセンター

関西大学ボランティアセンター

大阪公立大学ボランティアセンター

各ボランティア学生の受け入れ

（・大学見学ツアー・・・キャンパス探検、大学食堂体験、研究室訪問 →猛暑の為に中止とした）

・参加人数、学習支援員について

大学生ボランティアの参加は、定期テスト・実習等で増減する為、決まった人数を確保するのが難しいことがある。中学生の参加は3、4月の参加は少なかった為、今後はこの期間の開催は検討する。

3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

不登校だった生徒が、この学習館に来て希望の高校に進学できたことが大きい。また特性のある生徒が大学生と交流する中で自分の悩みを話したり、学校ではできなかった活動を行えたことにも大きな意義があったと感じている。

ボランティアを希望してくれた学生達が、季節の行事や教室の活動計画などに初めて取り組み、色々な経験を積んで、自信をつけてくれるのも嬉しいことだった。

ただ、無償ボランティアで来てくれる学生を一定数確保する難しさは常を感じている。

教室を運営していく上で必要な固定費、消耗品費や、無償で頑張ってくれている学生への交通費・お弁当代を支援したいが、その資金を調達することは容易ではない。

4. 本活動におけるエピソード、思い、感想、等（任意）

今年度、教室の卒業生が大学生ボランティアとして戻ってきてくれるという嬉しい出来事があった。

この教室で学んで経験したことが、子どもの支援をしたいという未来の活動として根付いてくれたことに大きな喜びを感じた。

この学習館での自学自習経験・学生との交流・季節の行事を通して、学ぶことの大切さ、人との交流を楽しむ気持ちを、今後も子ども達に伝え続けたいと思っている。

学生ボランティアの声

- ・志が同じ他大学の仲間に出会える
- ・教師になったときの生徒対応の際の実践に役立つ
- ・社会の現状をリアルに知ることができる

（学習支援教室で多様な子供たちと触れ合い、いろいろな対話を通して子どもたちの相談にのることで、自分の知らなかった世界を知ることが社会人になったときに役立つ）

・海外ボランティア活動の場合には、環境問題への課題提起・世界の人々と触れ合う中での語学スキルアップ等が利点としてあげられるが、同様に国内の子どもの貧困問題、不登校児童生徒の課題・現状対応に取り組むことで、日本の社会全体を学ぶ機会となったのは我々学生にとって非常に良い経験となった。

5. 学識者からのご意見、コメント、等（申請カテゴリにて「S」が付されている団体）

該当なし